

商品検査センターレポート



検査実績概要(検体数)

残留農薬検査

農作物ごとに決められている使用農薬と、その残留基準が守られていることを確認しています。



微生物検査

原材料や製品、製造環境が衛生的に管理されているかを確認し、商品事故を予防します。



2018年度の検査は日本生協連と合わせ53,365検体です。日本生協連ではコープ商品の検査、コープデリ連合会ではそれ以外の商品の検査を行っています。

		日本生協連	コープデリ連合会	合計
微生物や食品中に残存する化学物質などの検査	微生物	5,200	18,443	23,643
	残留農薬	2,961	1,105	4,066
	残留動物用医薬品	323	188	511
	食品添加物	795	211	1,006
	カビ毒	101	177	278
	ヒスタミン	164	506	670
	放射性物質	1,138	2,141	3,279
食品の品質や規格成分の検査	成分・品質	2,696	1,809	4,505
	内容量	1,573	0	1,573
	官能	3,643	6	3,649
	品温	0	306	306
食品の表示を確認する検査	特定原材料	2,696	550	3,246
	遺伝子組換え	43	0	43
	品種・肉種判別	164	128	292
	産地判別	68	40	108
施設衛生検査		0	5,485	5,485
その他(上記以外)		622	83	705
合計		22,187	31,178	53,365

商品検査センターの取り組み

見学対応やイベント

2018年4月3日に見学もできる施設としてリニューアルオープンし、1年間で約5,000人の方にご来館いただきました。9月に「食品添加物」、2月に「農薬・オーガニック」をテーマにリスクコミュニケーションを開催しました。また、夏休みには親子見学会を10回開催し、多くの親子に参加していただきました。さらに、行政と連携して「年越しそばを科学する」なども開催しました。



「ISO/IEC17025(試験所認定)」の項目拡大

放射性物質検査に続き、9月に微生物検査の生菌数試験でも「ISO/IEC17025(試験所認定)」を取得しました。

*「ISO/IEC17025(試験所認定)」とは、国際的なルールに従って測定精度の評価をし、その中身の透明性・整合性が確保できていることを第三者認定機関が認定する規格です。その結果、ISO/IEC17025に認定された試験所は、世界に通用する試験結果を出す能力があると認められます。

